

平成 29 年 6 月 25 日(日)

(第 43 号)

ワンネット通信

NPO ワンストップリーガルネット

発信者 理事長 大内田 治男

E-mail ouchidaoffice@kce.biglobe.ne.jp

電話 0942-39-0926 FAX 0942-31-5336

久留米市を事例に 都市農業「4つのパターン」を考える

ワンネット賛助会員 平岡 ^{しげる} 豊

マーケティングプロデューサー

都市農業の捉え方は難しい。「市街化区域内の生産緑地指定を受けた農地での農業」と思っていたが、平成 27 年に施行された「都市農業振興基本法」では、「市街地及びその周辺の地域において行われる農業」とされている。「その周辺」と言われてもなあ、と困ってしまう。

そんな折に、ワンネット関係のみなさんと(有)久保田園芸を見学できる機会に恵まれた。久保田さんは、久留米市北野町で施設園芸を手広く経営されており、ワンネットの理事でもある。鮮度が勝負の葉物野菜を、主として東京へ出荷されているという。

見学しながら、ここは都市農業の「その周辺」になるのかなあと気になって来たのだが、一方で、農地保全を主たる目的とした法律にとらわれずに、マーケティングとしての視点を生かした「都市農業」といった考え方もあるのではないか、と思いついた。農地よりもそこで生産される農産物、さらには消費者側の暮らしも踏まえて、都市農業を広義にとらえるのである。つまりは、今農業で重視されている「マーケット・イン」発想での都市農業となる。

具体的には、都市農業を 4 つのパターンに分類する。①都市「内在」型農業 ②都市「隣接」型農業 ③都市「周辺」型農業 ④都市「近郊」型農業、である。そして、この 4 つの農業パターンを考察するのに久留米市はぴったりの都市だと気づいたのである。①は、生産緑地が該当するが、高層ではないとしても市内の建物に囲まれたミニ農場でのコメづくりなどは難しいので、都市住民の「生活緑地」や特産物の「PR 農園」として活用する。②は、久保田園芸が適例になる。久留米市だが旧北野町なので、実態は都市隣接型である。雇用農業で、葉物野菜の選別調整に周辺居住の女性陣が大活躍していた。調整作業を、それぞれの自宅で行えるシステムもあるので、子育て中の主婦には嬉しい「職住内接」である。つまりは「手間作業型農業」の適地なのだ。③は、都市部からは少し離れた、水田や露地野菜などが目につく地域で、地元直売所などを支える農業となる。④は、久留米市には田主丸地区などの果樹産地がある。行政面では久留米市だが、「観光農園での楽しい一日」となる「近郊」である。

久留米市は、多品目を踏まえた農業産出額福岡県第 1 位。多様な都市農業のモデル地区としても、重要な役割を果たすことができる土地柄と思うのである。

●平成 29 年 6 月の無料相談会

6 月 14 日（水）10 時 30 分から 15 時まで「暮らしの無料相談会」、成年後見センター「みまもり処」を久留米市市民活動センター「みんくる」で開催しました。その後、引き続き反省会を行いました。

当相談会は、このところ始まって以来の記録づくめで嬉しい悲鳴です。これも会員のみなさまの淡々とした自主的な協力が一般の相談者に理解されてきた結果と思われます。なお一層のご助言とご協力をお願いいたします。

今回は、相談員として、久留米公証役場の田村公証人と 21 人のワンネット会員（森、立山、鹿子生、橋口、執行、松枝、永田、佐藤、大内田、寺田、森部、久保田、古賀信、平野、坂井、栗林、宮地、藤島、山浦、田中、杉野）のみなさんの他に、2 人の女性の見学者がありました。

相談に訪れた人は 41 人で、相談件数は 36 件。内容は、遺言・相続 13 件、離婚 2 件、その他 21 件（所有権移転 2 件、隣人の木の枝、土地の処分 3 件、生前贈与 3 件、訴訟、仮差押え、助成金の返却、遺言作成、訪問介護の経営権変更、借金返済 2 件、退職時のトラブル、不動産の贈与、地蔵さんの問題、慰謝料、死後の葬儀）でした。その内、継続しての相談は 4 件でした。次回の相談会は 7 月 12 日（水）で受付担当は古賀信会員と豊福会員です。よろしくお願ひします。

5 月の公証業務相談は 5 月 24 日（水）田村公証人と藤島会員で予定してきましたが、相談申込みがなく、開催されませんでした。6 月の公証業務相談は 6 月 21 日（水）で村上公証人と平野会員（急きょ欠席）。相談件数は 1 件で、内容は「遺言」でした。7 月の公証業務相談は 7 月 19 日（水）田村公証人と仲家会員の担当となっています。

公証業務相談の件数が減少傾向にあります。何処にもない公証業務相談が勿体無いと思われるので、この相談制度の有意義なことをアピールしていきたいと思っています。

●29 年 8 月からの「暮らしの無料相談会」受付当番

「暮らしの無料相談会」は、会員のみなさまの絶え間ない努力により、周知が広まり、相談件数も確実に増加の途を辿っています。

特徴的には、相談件数の増加に加え、内容として「遺言・相続」は相変わらず多いですが、「その他」の案件が大幅に増えてきました。このことは、当ワンネットがオールラウンドに対処できつつあることを示していると思われます。また、継続案件があるのはワンネットに対する信頼感の表れでもあることでしょう。

相談内容を十分理解して、相談員の特性を考慮しながら、相談員を配置する大切さが受付には要求されます。みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

不都合または変更を希望される方は、責任を持って事務局までご連絡ください。

敬称略

相談会日	受付担当者	相談会日	受付担当者
29年8月9日	森、大内田	30年2月14日	宮川、橋口
9月13日	山浦、古賀（隆）	3月14日	宮地、中村（妙）
10月11日	森部、杉野	4月11日	栗林、永田
11月8日	つきほし労連、寺田	5月9日	有馬、後藤
12月13日	黒岩、平木	6月13日	神野、執行
30年1月10日	藤島、鹿子生	7月11日	平山、古賀（信）

* 相談会日は、毎月第2水曜日 10:00~15:00（その後16:00まで反省会）

「くるめフォーラム2017」報告②

行政書士 山浦 正敦

10月7日（土）～8日（日）に開催される「くるめフォーラム2017」。このための4実行委員会のうちの映画部門に私は所属し、ワンネットを代表して活動しています。

これまでに候補映画の試写を合計7回行いました。上映する映画の候補を試写し、意見交換し、取りまとめるという作業です。初めて参加する私は、候補映画の内容がフォーラムに合うか、合わないかを定めるぐらいだろうと思っていました。が、参加してみると、私以外のほとんどの方は、内容についてはもちろん、画面の暗さや字幕の大きさ、映画の内容、テンポなどにも気を付けていらっしゃる。大変感銘を受けました。私は他の部門員の方に比べ、年齢も若く、男性でもあるので、そういった部分での意見を言おうとそのときから思うようになりました。

上映する映画については、「未来を花束にして」というのに決まりました。内容を大まかにいうと、1912年イギリスで、女性の参政権を求めて立ち上がった真実に基づく物語です。今年は日本国憲法施行70周年という節目でもあり、この映画を上映するのにいい機会ではないかということでした。そこで気付いたのは、日本人の参政権についての意識の低さです。この映画を通して、参政権について考えてもらい、行動につながるとよいと思います。

今回「平成29年度カジダン・イクメン・イクジィ応援フォトコンテスト」というものも行われるそうです。詳細については広報くるめ、ホームページに掲載されるので、ご覧になってください。作品の展示もあるので興味がある方はぜひ参加をお願いいたします。

●ドローンで消毒始めます。

4月に農薬散布用ドローン免許を取得しました。5日間の合宿で学科、実技を行い、注意点や操作技術を学びました。

5月に機体を購入し、7月の稲の防除から使用していきます。ドローンでの農薬散布は、主にコメ、麦、大豆の防除に使います。従来の農薬散布では重労働で、高齢化が進む農業において課題でした。また、乗用の消毒機械では、稲を踏みつけてしまうという課題がありました。

ドローンはこの課題をクリアしました。早速、試験運転を見て、地元で自分で消毒している方々から消毒を依頼されました。

今後は、他の地域の方との交流も行い、お手伝いできればと思います。また、後継者がおらず、田んぼ管理にお困りの方からお借りして現在、約20ヘクタールほどの田んぼを作らせていただいています。これからまだ増えてくると思いますが、お借りしている田んぼを守っていけるよう頑張りたいと思っています。

(山下 昌邦)

※投稿いただいた山下 昌邦さんは、うきは市吉井町の認定農業者であるお父さんと土地利用型農業を営む若い農業後継者です。ワンネットのセミナー受講者でもあります。もし、ドローン消毒のご相談があれば、直接ご本人にお電話ください。気さくな好青年です。お気軽にお話しできます。

山下携帯 080-1747-0605

●理事会、総会の日程です。予定に入れてください。

ワンネット理事会

8月25日(金) 16時~19時 「みんくる」

ワンネット総会

9月7日(木) 16時~19時 「みんくる」

閉会后、懇親会を予定しています。

なお、8月9日(水)「みんくる」での「暮らしの無料相談会」会場で、28年度の無料相談会、公証業務相談、グループ活動などに参加された会員に対する「交通費」を支払う予定で準備を進めていきます。活動についての「自己申告」など、ご協力をお願いします。

次回「ワンネット通信」は7月23日(日)の発行を予定しています。
みなさまからのお気軽なご寄稿、ご意見・ご感想をお待ちしております。

